

LESSON NOTES

Advanced Audio Blog S3 #1 Introduction: Meet Our New Japanese Blogger

CONTENTS

- 2 Kanji
- 2 Kana
- 3 Romanization
- 3 English
- 4 Vocabulary
- 5 Sample Sentences
- 5 Grammar

1

KANJI

1. 自己紹介
2. はじめまして。高村と申します。
3. イベントの企画、運営を行っています。
4. また残念ながら現在はクローズしてしまいましたが、4年ほど前に原宿にMOGRAというギャラリーカフェをオープンして、そこに集う楽しい人たちと様々な活動を行ってまいりました。
5. このブログでは特にそのお店に集まったアーティストの話を中心に、これまでやってきたイベントのご紹介ができればと思っております。
6. 東京は特に多種多様な思惑をもった人たちが多く存在し、それらが同時多発的に活動することで、すさまじいエネルギーとスピードをもって日々変化を遂げる特別な都市です。
7. 私のご紹介する話もその中の小さな事柄かもしれませんが、またそれらもどこかで誰かと繋がっている素晴らしい出来事かもしれません。

KANA

1. じこしょうかい
2. はじめまして。たかむらともうします。
3. イベントのきかく、うんえいをおこなっています。
4. またざんねんながらげんざいはクローズしてしまいましたが、4ねんほどまえにはらじゅくにMOGRAというギャラリーカフェをオープンして、そこにつどうたのしいひとたちとさまざまなかつどうをおこなってまいりました。

CONT'D OVER

5. このブログではとくにそのおみせにあつまったアーティストのはなしをちゅうしんに、これまでやってきたイベントのごしょうかいができればとおもっております。
6. とうきょうはとくにたしゅたようなおもわくをもったひとたちがおおくそんざいし、それらがどうじたはつてきにかつどうすることで、すさまじいエネルギーとスピードをもってひびへんかをとげるとくべつなとしです。
7. わたしのごしょうかいするはなしもそのなかのちいさなことがらかもしれないですが、またそれらもどこかでだれかとつながっているすばらしいできごとかもしれません。

ROMANIZATION

1. Jiko shōkai
2. Hajimemashite. Takamura to mōshimasu.
3. Ibento no kikaku, un'ei o okonatte imasu.
4. Mata zannen nagara genzai wa kurōzu shite shimaimashita ga, 4-nen hodo mae ni Harajuku ni MOGRA to iu gyararīkafe o ōpun shite, soko ni tsudou tanoshii hitotachi to samazama na katsudō o okonatte mairimashita.
5. Kono burogu dewa toku ni sono o-mise ni atsumatta ātisuto no hanashi o chūshin ni, koremade yatte kita ibento no go-shōkai ga dekireba to omotte orimasu.
6. Tōkyō wa toku ni tashutayō na omowaku o motta hitotachi ga ōku sonzai shi, sorera ga dōjitahatsuteki ni katsudō suru koto de, susamazii enerugī to supīdo o motte hibi henka o togeru tokubetsu na toshi desu.
7. Watashi no go-shōkai suru hanashi mo sono naka no chiisa na kotogara kamoshirenai desu ga, mata sorera mo dokoka de dareka to tsunagatte iru subarashii deki goto kamoshiremasen.

ENGLISH

CONT'D OVER

1. Hello everyone, nice to meet you. My name is Takamura.
2. I'm in event planning and management.
3. Unfortunately it's closed at the present time, but about four years ago I opened a gallery-cafe called MOGRA in Harajuku. There I created many different events with the fun people who congregated there.
4. In this blog, I hope to be able to introduce the events I've done up till now, with an emphasis on the stories of the artists who gathered at that gallery-cafe as a focal point.
5. Tokyo is a unique city in which so many people with a great variety of expectations live. Since so much activity is happening at once, it's a special city that is changing everyday with tremendous speed and energy.
6. The stories I'm going to introduce may be trivial in such a city, but they may also be wonderful incidents connected to somebody somewhere.

VOCABULARY

Kanji	Kana	Romaji	English
企画	きかく	kikaku	planning project
運営	うんえい	un'ei	manage, management
集う	つどう	tsudou	to gather, to assemble
多種多様	たしゅたよう	tashutayō	a great variety of
思惑	おもわく	omowaku	expectation, speculation, prediction
凄まじい	すさまじい	susamajii	torrential, fierce, tremendous

遂げる	とげる	togeru	to accomplish, to achieve
事柄	ことがら	kotogara	matter, thing
出来事	できごと	dekigoto	incident, affair, happening

SAMPLE SENTENCES

<p>今回の企画は失敗です。 <i>Konkai no kikaku wa shippai desu.</i></p> <p>This project failed.</p>	<p>カフェを運営するのが、私の夢です。 <i>Kafe o unei suru no ga, watashi no yume desu.</i></p> <p>My dream is to manage a cafe.</p>
<p>イスラム教徒がモスクに集う。 <i>Isuramu kyōto ga mosuku ni tsudou.</i></p> <p>Muslims assemble in the mosque.</p>	<p>東京は多種多様な人々がいる。 <i>Tōkyō wa tashutayō na hitobito ga iru.</i></p> <p>There are a variety of people in Tokyo.</p>
<p>私の兄弟はそれぞれ将来の思惑がある。 <i>Watashi no kyōdai wa sorezore shōrai no omowaku ga aru.</i></p> <p>My brothers each have their own expectations for the future.</p>	<p>泥棒がすさまじい勢いで逃げていった。 <i>Dorobō ga susamajii ikioi de nigete itta.</i></p> <p>The burglar ran away at great speed.</p>
<p>難しいプロジェクトをやり遂げました。 <i>Muzukashī purojekuto o yaritogemashita.</i></p> <p>We accomplished the tough project.</p>	<p>昨日聞いた事柄について、考える。 <i>Kinō kiita kotogara ni tsuite, kangaeru.</i></p> <p>I'll think about the matter that I heard about yesterday.</p>
<p>その日に起こった出来事を毎日日記に書いている。 <i>Sono hi ni okotta dekigoto o mainichi nikki ni kaite iru.</i></p> <p>I write the things that happen daily in my diary.</p>	

GRAMMAR

Interview Transcript

Natsuko: こんにちは、なつこです。今日からオーディオブログ、シーズンスリーが新しく始まります。今回は初めて、男性ライターの方のブログを紹介していきます。いままでとはまた違った雰囲気 of ブログを楽しめると思います。そしてさらに、なんと今日、このスタジオに、ライターご本人の高村さんにお越しいただきました。高村さんよろしくお願ひいたします。

Takamura:あ、どうも初めまして、タカムラ ユキナリと申します。よろしくお願ひします。

Natsuko:よろしくお願ひします。高村さんはいろいろとおもしろい活動をなさっているとお聞きしています。ブログではその活動についてご紹介してくださるんでしょうか？

Takamura:はい。イベントの企画や、運営を行っているので、その活動を通じて感じた事などを紹介して行く予定です。

Natsuko:楽しみですね。色々と詳しいお話をお伺ひしたいところですが、まずはブログ第一話として、「自己紹介」を書いていただきましたので、そちらを聞いてからにしましょう。

(Blog本文)

Natsuko:それでは、いまの自己紹介の中に出てきた内容について、もう少し詳しくお話を伺っていきたいと思います。まず“ギャラリーカフェ”を運営していらしたということですが、“ギャラリーカフェ”というのは具体的にはどういうカフェだったんでしょうか？

Takamura:よくある形態だと思うんですが、文字通り、カフェにギャラリーが併設されているというものです。

Natsuko:カフェの中に、こう、展示スペース があるような感じなんですか？

Takamura:そうですね。一階がカフェスペース、中二階がソファー席、二階が展示スペースといった造りで、それこそまるで秘密基地のような、遊び心があるというか、、、まあへんてこなお店だったと思いますね。

Natsuko:へえー！

Takamura:毎週、絵や写真、アパレルなどの展示会があり、週末に展示者のパーティーがあるというようなローテーションで、ほんとに様々な表現者達の実験的交流の場所として機能していました。ライブがあったり、上映会があったり、ダンスやセミナー、コスプレの撮影なんかもありましたね。

Natsuko:あ！そんなこともやっていたんですねえ。では、そういった何かを表現したい人たちと、あと、それらを受け止めて、こう楽しむ人たちとの間をつなぐような、そういう機会を提供してらしたような感じですか？

Takamura:まあ、そうですね。あの一、どっちの気持ちもわかるというか。。。

Natsuko: ああ、こう、仲立ちをしているような感じ。。。

Takamura: そうですね。まあ、そういう事が好きだったし。

Natsuko: なるほど。あの、ところで、このギャラリーカフェ「もぐら」という、、この「もぐら」でネーミングがおもしろいですよね。

Takamura: これは、あのよく聞かれる話なんです。あの一、まあいまから30年ほど前に「もぐら」というバーがあったらしいんですけども。

Natsuko: あ、そうなんですか！

Takamura: ええ。まあ、そこにはちょっとあのお、なんていうんですか、犯罪者とか、まあちょっと悪党達が集って、まあそこに隠れ潜んでいたと。

Natsuko: ああ、「モグラ」だから地下に。

Takamura: そうですね。その地下にまあ隠れて、潜伏していたと。でもまあ、そこに集まった人たちが、そこを巣立って、どんどん出世していくわけですけど。まあ、そういった、げん担ぎというか、ここに集う人たちが、そっから巣立って欲しい。。で、「土」の「竜」と書くんですけど。。

Natsuko: 「もぐら」の漢字はそうですね。

Takamura: それをまあ「土の中にいるアンダーグラウンドな竜」とかけて、で、土から天に昇っていく竜という。

Natsuko: ああ、じゃ地下からこう昇っていくようなイメージですか。

Takamura: そうですね。まあそういう意味合いも、、

Natsuko: かつこいいですねえ。じゃあ、そういったその昔あったお店をイメージして、新たに高村さんが作られたスペースという。

Takamura: 私がやる、「もぐら」というそのお店。

Natsuko: なるほどー。そういったギャラリーカフェを始めたきっかけというのは、何なんでしょうか？やっぱり高村さんご自身が芸術に興味がおありだったんですか？

Takamura: そうですね。まあもともと音楽をやっていました。

Natsuko: あ、だから、こう表現者の側も、その受け止める側も両方の気持ちがわかるとおっしゃっていたんですねえ。

Takamura:そうですね。まあさっきの話にあったように。まあもう一つはあのお、元気とやる気はあるのに行き場所が無い若者ってたくさんいると思うんですが、何かその人たちのまあきっかけになればと。特にまあ芸術をどうしたいと大げさな事ではなく、ここに集う人たちが何かしらのヒントとか、楽しみとか、夢とか、、、まあそういう、単純ですが、、、大事なことを感じてくれれば良いなと、そんな感じでしたね。

Natsuko:ああ、なるほどー。このブログでは、そのギャラリーカフェで行ったイベントの紹介をしてくださると言うことですが、たとえばどんなイベントのお話を聞かせてもらえるのでしょうか？

Takamura:「マッドシティー」という、まあ映像作家ですね。それから、まあイベント、これはあのお「コンペティション」なんですが、あのお「S I G G」というスイスのボトルの、まあ、そのコンペティションに関わる話。

Natsuko:はあ、おもしろいですねえ！そういった色々な興味深いお話が聞けそうなので、みなさんも楽しみにしててくださいね。今日はありがとうございました。

Takamura:ありがとうございました。

Natsuko:それではみなさん、今日はこの辺で。次回をお楽しみに！